

多剤服薬や重複服薬など服薬課題のある方にお知らせを発送します

徳島県後期高齢者医療広域連合では、多剤服薬や重複服薬など服薬に課題がある対象者の一定期間の服薬状況を調査し、対象者に医療機関や薬局への相談を勧奨する通知を令和8年8月下旬に送付します。

通知の対象者は、令和7年10月～令和8年3月の期間に服薬課題のある方です。
服薬状況を適正な状態に保つことにより、健康の保持・増進および医療費適正化が図れます。

●問い合わせ 徳島県後期高齢者医療広域連合事務局事業課
☎088-677-3666 FAX088-666-0105

犬の散歩マナーへのご協力をお願いします

銀座通り・駅前通り商店街周辺は、小学生の通学路として長年利用されています。犬の排泄による柱や設備の劣化、臭気・衛生面への影響が問題となっています。地域の安全で清潔な環境を守るため、

- 糞は必ず持ち帰る
- 排尿時は水で流すなど配慮する
- 通学路・混雑時間帯での散歩ルートを見直す
- 柱や設備への排尿を控える

皆さんのご協力をお願いします。



●問い合わせ 鴨島町商店街連合協同組合 ☎24-6080

後期高齢者医療制度 歯科健康診査のお知らせ

後期高齢者医療制度に加入されている節目の年齢の方を対象に、歯・歯肉の状態や口腔清掃状態などをチェックし、口腔機能の低下や肺炎などの疾病を予防するため、歯科健康診査を実施しています。

また、徳島大学歯学部において、口腔ケアと体の健康、医療費や介護給付費との関連を調査しています。定期健診の受診や口腔ケアを行うことは、全身の健康にとっても重要であることが示されています。今年度の対象者は、ぜひ歯科健診を受診しましょう。

対象者 令和7年中に節目の年齢になられた方（昭和25年、昭和24年、昭和23年、昭和20年、昭和15年、昭和10年生まれの方）ただし、長期入院患者や施設入所者は対象外です。

長期入院患者や施設入所者の方は、すでに健康状態を把握され、医師や施設管理者などの指導を受けていると考えられることから、歯科健康診査の対象者から除いています。

なお、対象者には8月上旬に歯科健診受診券を送付します。長期入院患者・施設入所者の方にも受診券が届くこともありますが、対象外ですので健診はお控えください。

受診場所 後期高齢者の歯科健診の実施協力歯科医院
受診可能な歯科医院の一覧表は受診券に同封予定です。

受診方法 事前に電話などにて健診実施歯科医院に予約の上、受診してください。

健診項目 問診、口腔内診査、口腔機能評価（口の渇き、かむ力、飲み込む力）など

受診費用 無料

受診期限 11月30日（月）（受診券が届いてから使用可能です。）

持っていくもの 歯科健診受診券と資格確認書など

その他注意事項

- ・健診の予約日を忘れないようにしてください。
- ・歯科健診は期間中に1回のみです。後日、重複受診が判明した場合は費用を請求します。
- ・歯科健診自体は無料ですが、その後に治療行為が行われる場合は有料となります。
- ・健診結果は、広域連合またはお住まいの市町村での口腔保健指導および徳島大学との共同研究による分析調査に活用することがあります。
- ・一覧表に記載のない歯科医院での受診はできません。



●問い合わせ 徳島県後期高齢者医療広域連合事務局事業課
徳島市川内町平石若松78番地1
☎088-677-3666 FAX088-666-0105

消費者ひろば

「通信販売での定期購入トラブルに注意を」

インターネットなどの通信販売で、商品が定期的に送られてくる「定期購入」に関する相談が、引き続き多く寄せられています。

「一回限りだと思っていたが、定期購入になっていた」「返品や解約の方法が分からない」「解約しようとして電話したが、繋がらない」「初回で解約をするには差額の支払いが必要と言われた」などの相談が寄せられています。

このようなトラブルに遭わないためには、安易に注文することなく、注文確定の直前に示される最終確認画面で

※定期購入が条件になっていないか

※購入回数に指定がないか

※解約方法・条件、支払総額はどのようになっているかを必ず確認し、納得した上で注文しましょう。

また、これらの契約条件に関する記載は全てスクリーンショットなどで保存しましょう。

問い合わせ

市消費生活センター（市民生活課内）
☎36-1840 FAX22-2245
消費者ホットライン ☎188

人権とびくす

自分の中にあるアンコンシャス・バイアスに気づきましょう

アンコンシャス・バイアスとは、知らず知らずの内に身に付けている「無意識の思い込みや偏見」のことをいいます。

私たち一人一人には、性別、年齢、国籍、障がいの有無や多様なものの見方・考え方などの違いがあります。今このアンコンシャス・バイアスが注目されている理由は、日常生活において「決めつけ」や「押しつけ」として現れ、円滑な人間関係に支障を来したり、さまざまな判断を誤ったりすることがあるからです。

アンコンシャス・バイアスにはいくつかの種類があります。「ステレオタイプ（固定観念）」は、「男／女はこうあるべきだ」「A型は几帳面」など、属性への先入観によって他者を決めつけてしまうことです。これは、運転時に子どもを見かけると、「子どもは飛び出してくる」と瞬時に判断し、安全

運転につながるといった良い面もあります。また「確認バイアス」は、自分に都合の良い情報に注目し、それ以外の情報は無視してしまうことです。特にインターネットで得る情報で物事を判断することが多くなった昨今、一面的な情報によって判断を誤ってしまうことがあります。注意を払う必要があります。「集団同調性バイアス」は、「みんなが言っている／している」と自分よりも周囲の行動や多数派の行動に合わせてしまう心理傾向です。災害の危機に直面した際、無意識に周囲の様子をうかがってしまう、避難のタイミングを逃してしまうケースが多く報告されています。

こうしたアンコンシャス・バイアスがあなただの中にも潜んでいませんか。①自分の言動に思い込みはないか ②「普通は～」「～が当たり前」という言葉をよく使っていないか、今一度振り返ってみましょう。

問い合わせ

人権課 ☎22-2229
FAX22-2247

